

## 野生鳥獣の捕獲活動を担う猟友会

市内には、鹿屋市(中央)猟友会・南部猟友会・市成猟友会・百引猟友会・串良猟友会・吾平町猟友会の6つの猟友会があります。それぞれの捕獲計画区域内の農作物被害を減らすため、各猟友会はパトロールや捕獲活動などを夏の暑い時期から冬の寒い時期まで一生懸命頑張っています。



### INTERVIEW

#### 猟友会同士の連携強化を

6年前に野生鳥獣の被害で収穫間際の畑が全滅したことをきっかけに猟の免許を取得し、自分の農地を自分で守っています。百引地区は、年々サルやイノシシの数が増えてきているので、寄せつけない取り組みや、侵入を防ぐ取り組みが大事だと考えています。また、収穫後の残さ除去や防護柵設置など地域



百引猟友会 会長  
神丸 隆彦 さん

ぐるみでの対策も重要です。個体数を減らす対策もしっかりしなければならぬと感じています。百引猟友会に限らず狩猟者の高齢化が年々進んでいるので、担い手の確保も重要です。今後は市内の猟友会同士の応援体制を充実させながら市内全域で適正な捕獲活動に取り組みしていきたいです。

#### 先輩から技術や知恵を学びたい

祖父や父と猟を行っていたことから4年前に猟を始めました。幼い頃から山に連れて行ってもらっていたので、猟は自分にとって身近な存在でした。また、自分が猟を引き継ぐことで親孝行や地域への貢献が少しでもできればと感じています。猟の魅力は大きな獲物を捕らえる

ことです。猟で常に心掛けていることは、安全第一。猟銃の矢先をしっかりと確認し、誰がどこにいるか常に意識して、事故がないように注意を払っています。これからも経験豊富な先輩方から猟に関する技術や知識をしっかりと学び、一人前の猟師になりたいです。



南部猟友会 会員  
有馬 竜治 さん

### ◎狩猟免許取得に関する助成を行っています

市農林水産課 TEL0994-31-1173

- わな免許取得助成** わな免許を取得し、市内の猟友会に入会、有害鳥獣捕獲に携わる者に対して、取得にかかった経費について1万円を助成するもの
- 初心者講習会受講料助成** 狩猟免許を取得し、市内の猟友会に入会、有害鳥獣捕獲に携わる者に対して、狩猟免許試験を受ける際に開催される初心者講習会の受講料について5千円を助成するもの



市内でイノシシ肉が食べられるはくつる(吾平町 3393-1) TEL 0994-58-5730



昨年の農業まつりでは猟友会によるイノシシの焼肉の振る舞いが行われた。

#### 食用としての利活用

捕獲したイノシシを地域の資源として、有効に活用するため食肉が利活用されています。市内の一部の飲食店でのイノシシ料理の提供や、猟友会ではイノシシ肉の魅力を紹介しています。



## 狩猟現場に密着！

中山間地域を中心に野生鳥獣を捕獲する猟友会の方々。猟師たちは野生鳥獣をどのようにして捕獲するのか？その活動に密着しました！



猟犬を放ち捕獲活動開始。猟犬と一緒に山中を歩きまわる者、林の中で銃を持ち待ち構える者、猟犬の動きやさまざまな情報から、その後の指示を出す者。それぞれが役割を分担して捕獲活動が成り立ちます。

近づいてくる猟犬の鳴き声に合わせ、イノシシの進行方向に待機している猟師へ無線で、「もう少しでそっちに来つど、構えちよけ」と指示する声に緊張が走ります。その後、一発の銃声が山中に鳴り響き、1頭の雌イノシシを捕獲。無線による「脱砲確認」の合図で、この日の捕獲活動は終了。猟友会の捕獲現場に同行して、狩猟に取り組む姿勢や辛抱強さ、そして何よりも会員同士の息のあった連携を間近で体験することができた貴重な一日でした。

#### チームプレーで捕獲

その後、捕獲範囲を決めてメンバーを入念に配置し包囲網を固め、場所を細かく指示します。「猟で大事なことは、捕獲範囲の見極め。判断を誤ると猟犬を無駄に走らせ体力を消耗させるだけ。限られた時間でいかに効率よく捕獲することができかが大事です」と隊長は語ります。

#### 長年の経験と現場力

午前7時、一斉に捕獲現場へ移動。メンバーを指揮する隊長は、現場近くの山道に入ると、軽トラックを運転しながらイノシシの足跡がないかを入念に確認します。気になる場所を見つけると車を降り、イノシシが残した足跡が時間が経ったものではないかなど、長年の経験を生かして行動域を探ります。

## 【対策3】 個体数を減らす

3つ目の対策は捕獲活動により個体数を減らすこと。寄せつけない・侵入を防止する対策でも被害が減らない場合は、市内の猟友会へ協力を依頼し、鹿屋市鳥獣被害防止計画に基づき適正な捕獲を行っています。近年では猟友会同士の応援体制による捕獲活動や、行政区域境における捕獲活動も行われています。